

飯豊山地における高山蛾の生態的知見（Ⅱ）

草刈広一

〒999-1201 山形県西置賜郡小国町沼沢185

Ecological notes of Alpine moss in mountainous of Iide

Kouichi Kusakari

Numazawa 185, Oguni Town, Nishiokitama-gun, Yamagata, 〒999-1201

はじめに

2017年9月16日に飯豊山地の草月平（1960m, 御西岳～駒形山間）において、ベニヒカゲ *Erebia nipponica* の生態観察を行った際に、日中に訪花した高山蛾類に遭遇し、若干の知見を得たので報告する。なお、2017年は飯豊山地の天候が安定せず高山蛾の観察調査が充分できなかったため、2016年7月25日に福島県のレッドリスト調査で、草月平～御西小屋付近において昼光性蛾類のサンプリングを行った結果を併せて収録する。

草月平において観察記録された高山蛾

ホッキョクモンヤガ *Agrotis ruta* （ヤガ科）1 ex. 筆者同定・保管

前報（草刈 2016）でも草月平において記録したホッキョクモンヤガ *Agrotis ruta*（本州では日本アルプスや飯豊、朝日、鳥海などの東北日本海側山地に分布）が、2017年8月17日、タカネマツムシソウに訪花したところを観察した（図1）。

ホソエダツトガ *Crambus sibiricus* （メイガ科）1 ex. 佐々木明夫氏同定・保管

佐々木氏によれば、国内での確実な出現観察は、北海道大雪山、岩手県早池峰山、岩手県焼石岳、山形県鳥海山、山形県飯豊山、群馬県至仏山、長野県後立山連峰で記録されており、なお日本産蛾類標準図鑑（岸田編 2011）の中で佐々木氏が収録した北海道の標茶と夕張の記録は誤同定だったことがわかったとのことである。

これら既報のうち、飯豊山産の個体の写真が掲載されている佐々木（2014）には、サハリン産のものと一緒に飯豊山産のオス交尾器も図示されており、サハリン産と大雪山高山帯産、飯豊山産の3個体群に、外見や交尾器に違いがみられるので、それら3個体群の外見と交尾器の対応関係について再検討の必要性が示唆されている。なお、具体的なデータを伴う飯

豊山地からの本種の記録は、今回初めてと思われる。

ニセトビモンコハマキ *Argyrotaenia nigricana* (ハマキガ科) 1 ex. 筆者同定・保管

日本固有種で、いわゆる高山蛾ではないが、北海道、本州の中部山地帯及び四国の山地に分布し、福島県では旧伊南村戸板峠の記録がある(斎藤, 2015)。

セジロナミシヤク *Laciniodes denigratus ussuriensis* (シヤクガ科) 1 ex. 佐藤力夫氏同定・筆者保管

日本では北海道から九州まで分布するが、関東地方以西では山地に限られ、福島県での記録も標高の高い場所でのものが多い(斎藤, 2015)。

草月平以外の飯豊山地において記録された高山蛾

キクキンウワバ *Triohoplusia intermixta* (ヤガ科) 御西小屋前 1 ex. 目撃・撮影(図2) 2017年7月22日.

本種も高山蛾ではなく、日本では南西諸島を除く山間地に広く分布し、福島県内でも多く記録されている(斎藤, 2015)。

飯豊山地以外において記録された高山蛾

モンクロキイロナミシヤク *Stannodes danilovi sugitani* (シヤクガ科)

南アルプス北岳大樺沢(2200m) 2017年8月21日、クガイソウに訪花した1個体を確認した(図3)。北海道の中部山地、本州の関東北部から中部の亜高山帯～高山帯に分布する昼光性の種で、飯豊山地には生息しない。



図1 タカネマツムシソウに訪花した草月平のホッキョクモンヤガ(2017年8月17日撮影)

図2 飯豊・御西小屋前に出現したキクキンウワバ(2017年7月22日撮影)

図3 クガイソウに訪花した南アルプスのモンクロキイロナミシヤク(2017年8月21日撮影)

高山蛾の判別について

飯塚・斎藤（2001）は2000年8月、主に御西小屋と切合小屋で燈火採集を行い、58種の蛾類を記録した。そのうち高山蛾とされるものは6種であり、約9割の種はより標高の低い地点から飛来したか、あるいは飯豊山地の高山帯にも適応して生息しているかのいずれかと思われる。現在、それらの生態的な課題を解明する基礎資料の蓄積に務めている。そのため、いわゆる高山蛾以外の種も収録している。また高山蛾類の生物地理的特徴を知るために、飯豊山地に生息しない種の情報も必要と考え、昼光性の蛾類の参考例として、南アルプス産のモンクロキイロナミシヤクを収録した。

引用文献

- 飯塚新真・斎藤修司（2011）飯豊山高山帯における蛾類分布調査 ふくしまの虫 20:1-4.
- 岸田泰規（編）（2011）日本産蛾類標準図鑑 学習研究社
- 草刈広一（2014）飯豊カイヤギ山小屋昆虫記2014 出羽のむし 10:73-82.
- 草刈広一（2016）飯豊山地における高山蛾の生態的知見 寒河江川流域自然史研究 10:7-9.
- 斎藤修司（2015）福島県における蛾類の記録（文献記録をまとめた暫定目録） Insect TOHOKU 特別号 2:1-114.
- 佐々木明夫（2014）小木広行氏採集のサハリンのツトガ 誘蛾灯 218:133-136.